

## 教育・保育の量の見込み及び確保方策(県全域)

(単位:人)

【県全域】			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
1号認定	量の見込み	A	10,803	10,596	10,440	10,230	10,140
	確保方策	B=C+D	13,451	13,141	12,947	12,652	12,517
	特定教育・保育施設	C	3,636	4,042	4,326	4,445	4,511
	確認を受けない幼稚園	D	9,815	9,099	8,621	8,207	8,006
	過不足	E=B-A	2,648	2,545	2,507	2,422	2,377
2号認定	量の見込み	F=G+H	40,097	39,176	38,460	37,650	37,183
	教育ニーズ ※1	G	3,745	3,643	3,571	3,479	3,422
	保育ニーズ	H	36,352	35,533	34,889	34,171	33,761
	確保方策	I=J+K	37,449	36,631	35,953	35,228	34,806
	特定教育・保育施設	J	37,340	36,524	35,855	35,133	34,710
	認可外保育施設 ※2	K	109	107	98	95	96
過不足	L=I-F	▲ 2,648	▲ 2,545	▲ 2,507	▲ 2,422	▲ 2,377	
3号認定 0歳児	量の見込み	M	2,824	2,820	2,823	2,785	2,783
	確保方策	N=O+P+Q	2,757	2,796	2,823	2,785	2,783
	特定教育・保育施設	O	2,665	2,702	2,727	2,687	2,676
	特定地域型保育事業所	P	14	14	14	14	23
	認可外保育施設	Q	78	80	82	84	84
過不足	R=N-M	▲ 67	▲ 24	0	0	0	
3号認定 1~2歳児	量の見込み	S	12,389	12,384	12,334	12,240	12,159
	確保方策	T=U+V+W	12,192	12,252	12,325	12,240	12,159
	特定教育・保育施設	U	11,931	11,992	12,056	11,964	11,825
	特定地域型保育事業所	V	27	28	29	29	87
	認可外保育施設	W	234	232	240	247	247
過不足	X=T-S	▲ 197	▲ 132	▲ 9	0	0	

※1 2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望の強い者が幼稚園を利用する場合、実際上の過不足は生じない。

※2 地方自治体が一定の施設基準に基づき運営費支援を行っている認可外保育施設等。

### 【実際上の過不足(3歳~就学前の子ども)】

教育ニーズに対する過不足	Y=E-G	▲ 1,097	▲ 1,098	▲ 1,064	▲ 1,057	▲ 1,045
保育ニーズに対する過不足	Z=L+G	1,097	1,098	1,064	1,057	1,045

## 教育・保育の量の見込み及び確保方策(佐久圏域)

(単位:人)

【佐久圏域】			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
1号認定	量の見込み	A	1,194	1,169	1,147	1,131	1,130
	確保方策	B=C+D	1,791	1,740	1,703	1,671	1,668
	特定教育・保育施設	C	170	668	837	1,018	1,098
	確認を受けない幼稚園	D	1,621	1,072	866	653	570
	過不足	E=B-A	597	571	556	540	538
2号認定	量の見込み	F=G+H	4,010	3,915	3,784	3,694	3,649
	教育ニーズ ※1	G	649	624	608	593	593
	保育ニーズ	H	3,361	3,291	3,176	3,101	3,056
	確保方策	I=J+K	3,413	3,344	3,228	3,154	3,111
	特定教育・保育施設	J	3,413	3,344	3,228	3,154	3,111
	認可外保育施設 ※2	K	0	0	0	0	0
	過不足	L=I-F	▲ 597	▲ 571	▲ 556	▲ 540	▲ 538
3号認定 0歳児	量の見込み	M	354	340	338	335	333
	確保方策	N=O+P+Q	352	340	338	335	333
	特定教育・保育施設	O	348	336	334	331	329
	特定地域型保育事業所	P	2	2	2	2	2
	認可外保育施設	Q	2	2	2	2	2
	過不足	R=N-M	▲ 2	0	0	0	0
3号認定 1~2歳児	量の見込み	S	1,109	1,098	1,087	1,079	1,071
	確保方策	T=U+V+W	1,077	1,068	1,087	1,079	1,071
	特定教育・保育施設	U	1,071	1,062	1,081	1,073	1,065
	特定地域型保育事業所	V	3	3	3	3	3
	認可外保育施設	W	3	3	3	3	3
過不足	X=T-S	▲ 32	▲ 30	0	0	0	

※1 2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望の強い者が幼稚園を利用する場合、実際上の過不足は生じない。

※2 地方自治体が一定の施設基準に基づき運営費支援を行っている認可外保育施設等。

### 【実際上の過不足(3歳～就学前の子ども)】

教育ニーズに対する過不足	Y=E-G	▲ 52	▲ 53	▲ 52	▲ 53	▲ 55
保育ニーズに対する過不足	Z=L+G	52	53	52	53	55

## 教育・保育の量の見込み及び確保方策(上小圏域)

(単位:人)

【上小圏域】			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
1号認定	量の見込み	A	1,305	1,322	1,314	1,306	1,305
	確保方策	B=C+D	1,553	1,563	1,553	1,544	1,543
	特定教育・保育施設	C	90	90	90	90	90
	確認を受けない幼稚園	D	1,463	1,473	1,463	1,454	1,453
	過不足	E=B-A	248	241	239	238	238
2号認定	量の見込み	F=G+H	3,552	3,584	3,545	3,513	3,501
	教育ニーズ ※1	G	335	326	321	318	317
	保育ニーズ	H	3,217	3,258	3,224	3,195	3,184
	確保方策	I=J+K	3,304	3,343	3,306	3,275	3,263
	特定教育・保育施設	J	3,304	3,343	3,306	3,275	3,263
	認可外保育施設 ※2	K	0	0	0	0	0
	過不足	L=I-F	▲ 248	▲ 241	▲ 239	▲ 238	▲ 238
3号認定 0歳児	量の見込み	M	431	443	453	464	477
	確保方策	N=O+P+Q	431	443	453	464	477
	特定教育・保育施設	O	396	407	416	426	439
	特定地域型保育事業所	P	2	2	2	2	2
	認可外保育施設	Q	33	34	35	36	36
	過不足	R=N-M	0	0	0	0	0
3号認定 1~2歳児	量の見込み	S	1,038	1,057	1,079	1,100	1,126
	確保方策	T=U+V+W	1,038	1,057	1,079	1,100	1,126
	特定教育・保育施設	U	965	982	1,003	1,021	1,047
	特定地域型保育事業所	V	4	4	4	4	4
	認可外保育施設	W	69	71	72	75	75
過不足	X=T-S	0	0	0	0	0	

※1 2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望の強い者が幼稚園を利用する場合、実際上の過不足は生じない。

※2 地方自治体が一定の施設基準に基づき運営費支援を行っている認可外保育施設等。

### 【実際上の過不足(3歳～就学前の子ども)】

教育ニーズに対する過不足	Y=E-G	▲ 87	▲ 85	▲ 82	▲ 80	▲ 79
保育ニーズに対する過不足	Z=L+G	87	85	82	80	79

## 教育・保育の量の見込み及び確保方策(諏訪圏域)

(単位:人)

【諏訪圏域】			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
1号認定	量の見込み	A	672	666	647	623	604
	確保方策	B=C+D	678	668	659	634	618
	特定教育・保育施設	C	203	196	194	186	184
	確認を受けない幼稚園	D	475	472	465	448	434
	過不足	E=B-A	6	2	12	11	14
2号認定	量の見込み	F=G+H	4,231	4,040	3,952	3,871	3,812
	教育ニーズ ※1	G	158	152	149	143	142
	保育ニーズ	H	4,073	3,888	3,803	3,728	3,670
	確保方策	I=J+K	4,225	4,038	3,940	3,860	3,798
	特定教育・保育施設	J	4,186	4,001	3,912	3,835	3,772
	認可外保育施設 ※2	K	39	37	28	25	26
過不足	L=I-F	▲ 6	▲ 2	▲ 12	▲ 11	▲ 14	
3号認定 0歳児	量の見込み	M	211	214	217	213	213
	確保方策	N=O+P+Q	211	214	217	213	213
	特定教育・保育施設	O	204	206	208	203	203
	特定地域型保育事業所	P	0	0	0	0	0
	認可外保育施設	Q	7	8	9	10	10
過不足	R=N-M	0	0	0	0	0	
3号認定 1~2歳児	量の見込み	S	1,020	1,049	1,059	1,078	1,082
	確保方策	T=U+V+W	1,015	1,043	1,050	1,078	1,082
	特定教育・保育施設	U	970	1,002	1,002	1,026	1,030
	特定地域型保育事業所	V	0	0	0	0	0
	認可外保育施設	W	45	41	48	52	52
過不足	X=T-S	▲ 5	▲ 6	▲ 9	0	0	

※1 2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望の強い者が幼稚園を利用する場合、実際上の過不足は生じない。

※2 地方自治体が一定の施設基準に基づき運営費支援を行っている認可外保育施設等。

### 【実際上の過不足(3歳~就学前の子ども)】

教育ニーズに対する過不足	Y=E-G	▲ 152	▲ 150	▲ 137	▲ 132	▲ 128
保育ニーズに対する過不足	Z=L+G	152	150	137	132	128

## 教育・保育の量の見込み及び確保方策(上伊那圏域)

(単位:人)

【上伊那圏域】			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
1号認定	量の見込み	A	426	412	402	390	382
	確保方策	B=C+D	599	557	543	504	484
	特定教育・保育施設	C	421	379	369	335	319
	確認を受けない幼稚園	D	178	178	174	169	165
	過不足	E=B-A	173	145	141	114	102
2号認定	量の見込み	F=G+H	4,139	3,986	3,956	3,801	3,703
	教育ニーズ ※1	G	258	247	243	231	226
	保育ニーズ	H	3,881	3,739	3,713	3,570	3,477
	確保方策	I=J+K	3,966	3,841	3,815	3,687	3,601
	特定教育・保育施設	J	3,966	3,841	3,815	3,687	3,601
	認可外保育施設 ※2	K	0	0	0	0	0
過不足	L=I-F	▲ 173	▲ 145	▲ 141	▲ 114	▲ 102	
3号認定 0歳児	量の見込み	M	268	265	267	257	255
	確保方策	N=O+P+Q	268	265	267	257	255
	特定教育・保育施設	O	268	265	267	257	255
	特定地域型保育事業所	P	0	0	0	0	0
	認可外保育施設	Q	0	0	0	0	0
過不足	R=N-M	0	0	0	0	0	
3号認定 1~2歳児	量の見込み	S	1,313	1,303	1,299	1,258	1,234
	確保方策	T=U+V+W	1,313	1,303	1,299	1,258	1,234
	特定教育・保育施設	U	1,313	1,303	1,299	1,258	1,234
	特定地域型保育事業所	V	0	0	0	0	0
	認可外保育施設	W	0	0	0	0	0
過不足	X=T-S	0	0	0	0	0	

※1 2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望の強い者が幼稚園を利用する場合、実際上の過不足は生じない。

※2 地方自治体が一定の施設基準に基づき運営費支援を行っている認可外保育施設等。

### 【実際上の過不足(3歳~就学前の子ども)】

教育ニーズに対する過不足	Y=E-G	▲ 85	▲ 102	▲ 102	▲ 117	▲ 124
保育ニーズに対する過不足	Z=L+G	85	102	102	117	124

## 教育・保育の量の見込み及び確保方策(飯伊圏域)

(単位:人)

【飯田圏域】			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
1号認定	量の見込み	A	302	297	290	286	283
	確保方策	B=C+D	333	331	320	316	310
	特定教育・保育施設	C	333	331	320	316	310
	確認を受けない幼稚園	D	0	0	0	0	0
	過不足	E=B-A	31	34	30	30	27
2号認定	量の見込み	F=G+H	3,669	3,637	3,522	3,457	3,405
	教育ニーズ ※1	G	227	227	220	217	212
	保育ニーズ	H	3,442	3,410	3,302	3,240	3,193
	確保方策	I=J+K	3,638	3,603	3,492	3,427	3,378
	特定教育・保育施設	J	3,638	3,603	3,492	3,427	3,378
	認可外保育施設 ※2	K	0	0	0	0	0
	過不足	L=I-F	▲ 31	▲ 34	▲ 30	▲ 30	▲ 27
3号認定 0歳児	量の見込み	M	200	201	199	198	193
	確保方策	N=O+P+Q	200	201	199	198	193
	特定教育・保育施設	O	200	201	199	198	193
	特定地域型保育事業所	P	0	0	0	0	0
	認可外保育施設	Q	0	0	0	0	0
	過不足	R=N-M	0	0	0	0	0
3号認定 1~2歳児	量の見込み	S	1,257	1,228	1,220	1,211	1,209
	確保方策	T=U+V+W	1,257	1,228	1,220	1,211	1,209
	特定教育・保育施設	U	1,257	1,228	1,220	1,211	1,209
	特定地域型保育事業所	V	0	0	0	0	0
	認可外保育施設	W	0	0	0	0	0
	過不足	X=T-S	0	0	0	0	0

※1 2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望の強い者が幼稚園を利用する場合、実際上の過不足は生じない。

※2 地方自治体が一定の施設基準に基づき運営費支援を行っている認可外保育施設等。

### 【実際上の過不足(3歳~就学前の子ども)】

教育ニーズに対する過不足	Y=E-G	▲ 196	▲ 193	▲ 190	▲ 187	▲ 185
保育ニーズに対する過不足	Z=L+G	196	193	190	187	185

教育・保育の量の見込み及び確保方策(木曾圏域)

(単位:人)

【木曾圏域】			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
1号認定	量の見込み	A	38	38	37	35	33
	確保方策	B=C+D	35	35	34	32	30
	特定教育・保育施設	C	35	35	34	32	30
	確認を受けない幼稚園	D	0	0	0	0	0
	過不足	E=B-A	▲ 3	▲ 3	▲ 3	▲ 3	▲ 3
2号認定	量の見込み	F=G+H	527	521	494	477	468
	教育ニーズ ※1	G	46	46	45	42	40
	保育ニーズ	H	481	475	449	435	428
	確保方策	I=J+K	530	524	497	480	471
	特定教育・保育施設	J	530	524	497	480	471
	認可外保育施設 ※2	K	0	0	0	0	0
	過不足	L=I-F	3	3	3	3	3
3号認定 0歳児	量の見込み	M	36	35	34	34	33
	確保方策	N=O+P+Q	36	35	34	34	33
	特定教育・保育施設	O	36	35	34	34	33
	特定地域型保育事業所	P	0	0	0	0	0
	認可外保育施設	Q	0	0	0	0	0
	過不足	R=N-M	0	0	0	0	0
3号認定 1~2歳児	量の見込み	S	84	81	84	83	82
	確保方策	T=U+V+W	84	81	84	83	82
	特定教育・保育施設	U	84	81	84	83	82
	特定地域型保育事業所	V	0	0	0	0	0
	認可外保育施設	W	0	0	0	0	0
過不足	X=T-S	0	0	0	0	0	

※1 2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望の強い者が幼稚園を利用する場合、実際上の過不足は生じない。

※2 地方自治体が一定の施設基準に基づき運営費支援を行っている認可外保育施設等。

【実際上の過不足(3歳~就学前の子ども)】

教育ニーズに対する過不足	Y=E-G	▲ 49	▲ 49	▲ 48	▲ 45	▲ 43
保育ニーズに対する過不足	Z=L+G	49	49	48	45	43

## 教育・保育の量の見込み及び確保方策(松本圏域)

(単位:人)

【松本圏域】			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
1号認定	量の見込み	A	2,720	2,642	2,639	2,606	2,618
	確保方策	B=C+D	3,062	2,971	2,971	2,933	2,945
	特定教育・保育施設	C	1,079	1,053	1,092	1,078	1,082
	確認を受けない幼稚園	D	1,983	1,918	1,879	1,855	1,863
	過不足	E=B-A	342	329	332	327	327
2号認定	量の見込み	F=G+H	7,974	7,812	7,784	7,696	7,703
	教育ニーズ ※1	G	381	369	373	369	370
	保育ニーズ	H	7,593	7,443	7,411	7,327	7,333
	確保方策	I=J+K	7,632	7,483	7,452	7,369	7,376
	特定教育・保育施設	J	7,562	7,413	7,382	7,299	7,306
	認可外保育施設 ※2	K	70	70	70	70	70
過不足	L=I-F	▲ 342	▲ 329	▲ 332	▲ 327	▲ 327	
3号認定 0歳児	量の見込み	M	440	441	418	415	414
	確保方策	N=O+P+Q	427	439	418	415	414
	特定教育・保育施設	O	386	398	377	374	364
	特定地域型保育事業所	P	10	10	10	10	19
	認可外保育施設	Q	31	31	31	31	31
過不足	R=N-M	▲ 13	▲ 2	0	0	0	
3号認定 1~2歳児	量の見込み	S	2,314	2,345	2,340	2,342	2,332
	確保方策	T=U+V+W	2,302	2,310	2,340	2,342	2,332
	特定教育・保育施設	U	2,182	2,189	2,218	2,220	2,152
	特定地域型保育事業所	V	20	21	22	22	80
	認可外保育施設	W	100	100	100	100	100
過不足	X=T-S	▲ 12	▲ 35	0	0	0	

※1 2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望の強い者が幼稚園を利用する場合、実際上の過不足は生じない。

※2 地方自治体が一定の施設基準に基づき運営費支援を行っている認可外保育施設等。

### 【実際上の過不足(3歳~就学前の子ども)】

教育ニーズに対する過不足	Y=E-G	▲ 39	▲ 40	▲ 41	▲ 42	▲ 43
保育ニーズに対する過不足	Z=L+G	39	40	41	42	43

## 教育・保育の量の見込み及び確保方策(大北圏域)

(単位:人)

【大北圏域】			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
1号認定	量の見込み	A	286	278	276	274	287
	確保方策	B=C+D	321	313	311	309	322
	特定教育・保育施設	C	231	223	221	219	232
	確認を受けない幼稚園	D	90	90	90	90	90
	過不足	E=B-A	35	35	35	35	35
2号認定	量の見込み	F=G+H	874	836	823	825	850
	教育ニーズ ※1	G	94	89	86	86	87
	保育ニーズ	H	780	747	737	739	763
	確保方策	I=J+K	839	801	788	790	815
	特定教育・保育施設	J	839	801	788	790	815
	認可外保育施設 ※2	K	0	0	0	0	0
過不足	L=I-F	▲ 35	▲ 35	▲ 35	▲ 35	▲ 35	
3号認定 0歳児	量の見込み	M	41	48	68	46	49
	確保方策	N=O+P+Q	41	48	68	46	49
	特定教育・保育施設	O	41	48	68	46	49
	特定地域型保育事業所	P	0	0	0	0	0
	認可外保育施設	Q	0	0	0	0	0
過不足	R=N-M	0	0	0	0	0	
3号認定 1~2歳児	量の見込み	S	288	299	294	289	287
	確保方策	T=U+V+W	288	299	294	289	287
	特定教育・保育施設	U	286	297	292	287	285
	特定地域型保育事業所	V	0	0	0	0	0
	認可外保育施設	W	2	2	2	2	2
過不足	X=T-S	0	0	0	0	0	

※1 2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望の強い者が幼稚園を利用する場合、実際上の過不足は生じない。

※2 地方自治体が一定の施設基準に基づき運営費支援を行っている認可外保育施設等。

### 【実際上の過不足(3歳~就学前の子ども)】

教育ニーズに対する過不足	Y=E-G	▲ 59	▲ 54	▲ 51	▲ 51	▲ 52
保育ニーズに対する過不足	Z=L+G	59	54	51	51	52

## 教育・保育の量の見込み及び確保方策(長野圏域)

(単位:人)

【長野圏域】			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
1号認定	量の見込み	A	3,755	3,670	3,589	3,487	3,408
	確保方策	B=C+D	4,974	4,861	4,754	4,617	4,507
	特定教育・保育施設	C	1,033	1,027	1,129	1,131	1,126
	確認を受けない幼稚園	D	3,941	3,834	3,625	3,486	3,381
	過不足	E=B-A	1,219	1,191	1,165	1,130	1,099
2号認定	量の見込み	F=G+H	9,379	9,142	8,930	8,701	8,506
	教育ニーズ ※1	G	1,382	1,353	1,319	1,284	1,246
	保育ニーズ	H	7,997	7,789	7,611	7,417	7,260
	確保方策	I=J+K	8,160	7,951	7,765	7,571	7,407
	特定教育・保育施設	J	8,160	7,951	7,765	7,571	7,407
	認可外保育施設 ※2	K	0	0	0	0	0
過不足	L=I-F	▲ 1,219	▲ 1,191	▲ 1,165	▲ 1,130	▲ 1,099	
3号認定 0歳児	量の見込み	M	685	668	661	650	640
	確保方策	N=O+P+Q	634	646	661	650	640
	特定教育・保育施設	O	634	646	661	650	640
	特定地域型保育事業所	P	0	0	0	0	0
	認可外保育施設	Q	0	0	0	0	0
過不足	R=N-M	▲ 51	▲ 22	0	0	0	
3号認定 1~2歳児	量の見込み	S	3,268	3,216	3,162	3,097	3,041
	確保方策	T=U+V+W	3,120	3,155	3,162	3,097	3,041
	特定教育・保育施設	U	3,120	3,155	3,162	3,097	3,041
	特定地域型保育事業所	V	0	0	0	0	0
	認可外保育施設	W	0	0	0	0	0
過不足	X=T-S	▲ 148	▲ 61	0	0	0	

※1 2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望の強い者が幼稚園を利用する場合、実際上の過不足は生じない。

※2 地方自治体が一定の施設基準に基づき運営費支援を行っている認可外保育施設等。

### 【実際上の過不足(3歳~就学前の子ども)】

教育ニーズに対する過不足	Y=E-G	▲ 163	▲ 162	▲ 154	▲ 154	▲ 147
保育ニーズに対する過不足	Z=L+G	163	162	154	154	147

## 教育・保育の量の見込み及び確保方策(北信圏域)

(単位:人)

【北信圏域】			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
1号認定	量の見込み	A	105	102	99	92	90
	確保方策	B=C+D	105	102	99	92	90
	特定教育・保育施設	C	41	40	40	40	40
	確認を受けない幼稚園	D	64	62	59	52	50
	過不足	E=B-A	0	0	0	0	0
2号認定	量の見込み	F=G+H	1,742	1,703	1,670	1,615	1,586
	教育ニーズ ※1	G	215	210	207	196	189
	保育ニーズ	H	1,527	1,493	1,463	1,419	1,397
	確保方策	I=J+K	1,742	1,703	1,670	1,615	1,586
	特定教育・保育施設	J	1,742	1,703	1,670	1,615	1,586
	認可外保育施設 ※2	K	0	0	0	0	0
過不足	L=I-F	0	0	0	0	0	
3号認定 0歳児	量の見込み	M	158	165	168	173	176
	確保方策	N=O+P+Q	157	165	168	173	176
	特定教育・保育施設	O	152	160	163	168	171
	特定地域型保育事業所	P	0	0	0	0	0
	認可外保育施設	Q	5	5	5	5	5
過不足	R=N-M	▲1	0	0	0	0	
3号認定 1~2歳児	量の見込み	S	698	708	710	703	695
	確保方策	T=U+V+W	698	708	710	703	695
	特定教育・保育施設	U	683	693	695	688	680
	特定地域型保育事業所	V	0	0	0	0	0
	認可外保育施設	W	15	15	15	15	15
過不足	X=T-S	0	0	0	0	0	

※1 2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望の強い者が幼稚園を利用する場合、実際上の過不足は生じない。

※2 地方自治体が一定の施設基準に基づき運営費支援を行っている認可外保育施設等。

### 【実際上の過不足(3歳~就学前の子ども)】

教育ニーズに対する過不足	Y=E-G	▲215	▲210	▲207	▲196	▲189
保育ニーズに対する過不足	Z=L+G	215	210	207	196	189